

平成24年度第1回加茂地域審議会

日 時 平成24年5月21日(月) 午前10時00分～11時52分

場 所 津山市 加茂支所201会議室

出席委員

大塚邦久会長、菅田貞男副会長、上高光昭、岡田一江、岡田勉、尾島玲子、志水比佐代、智和正、藤本光一、町田英夫、松本美幸、美土路有蔵

欠席委員

なし

事務局

宮地市長、原田加茂支所長、安達市民生活課長、金尾産業建設課長、西山総合企画部長、植月地域振興部長、皆木協働推進室長、岡財政課長、後藤危機管理室長、久松企業立地課長、今村産業政策課長、定平財政係長、押目財政課主査、綱山主事

傍聴人 福原寿美男

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 市長あいさつ
- 4 異動職員、出席職員の紹介
- 5 議事
 - (1) 津山市の財政計画について
 - (2) ハザードマップについて
 - (3) 福祉バス有料化について
 - (4) 風力発電事業について
 - (5) 加茂地域の主要事業について
 - 消火栓ボックス改修補助制度について
 - 道路整備及び災害復旧事業について
 - (6) その他
- 6 市長との意見交換
- 7 閉会

議事録の概要

1 開会

事務局 ただいまより平成24年度第1回加茂地域審議会を開会させていただきます。本日は全員の委員がご出席をされています。開会にあたり会長よりごあいさつをお願いいたします。

2 会長あいさつ

会長 皆さんおはようございます。本日は24年の第1回の地域審議会でございます。委員の皆様にはご多忙の中、全員のご出席をいただきありがとうございます。また市長さんをはじめ市の職員の皆様にご出席いただきありがとうございます。11時半をめどにこの会議を進行させていただきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

3 市長あいさつ

市長 皆様方には平素より非常に多くの問題が山積しております、市政の推進に温かいご理解、ご協力をいただいておりますことに心から厚くお礼を申し上げます。津山市を取り巻く環境は非常に厳しい状況になっております。国の財政状況につきましては、昨年、東日本で発生した災害の復興に伴う地方財政への影響や、長引く景気低迷の中で、日本経済の急速な回復が期待できない現状から地方都市の運営はますます厳しくなっております。また合併10年を経過した後の地方交付税の大幅な減額、新クリーンセンターの建設、150億円もの負債の整理という非常に大きな問題も残っております。また中山間地域におきましては過疎化、少子高齢化が進行しております。地域全体の存続に向けた取り組みが求められている状況です。限られた財源をより一層効果的に活用しながら、将来の公共サービスを維持するためにも、皆様が自分たちの地域をどうするのかを自ら考えていただくことも非常に重要になってきています。今後とも地域審議会を中心に加茂地域の将来につきましてしっかり議論をしていただきながら各地域と行政の協働によりまして安全で安心の街づくりを進めてまいりたいと考えております。

4 異動職員、出席職員の紹介

5 議事

(1) 津山市の財政計画について

会長 それでは協議事項に入らせていただきます。始めに「津山市の財政計画について」事務局からお願いします。

事務局 第4次総合計画の後期実施計画、土開発公社改革プラン、財政計画について

説明。(計画策定の目的・期間・想定と目標。計画期間4年間の津山市の財政収支の状況。今後の財政運営における歳入・歳出に大きな影響を及ぼす要因の説明として、普通交付税の算定における市町村合併による特例措置の終了や土地開発公社改革プランの実施等)

委員 交付税について、人口が減るという予測は入っているか。もう一点は、遊休地を売却してということがあったが、公社が解散しても企業立地の財政的な優遇措置は続くのか。

事務局 将来の人口については、人口問題研究所が津山市の将来シュミレーションを行っておりますので、それに合わせて交付税算定をさせていただいております。企業立地の優遇措置については、土地を買い上げた企業については、一定の要件を満たせば、土地の購入代金に対して補助を市が出すようにしておりますが、その制度については継続していく予定です。

委員 説明の中で、給与改定減額2%と書いてありますが、国家公務員は7.8%の減額と言われてますので、それの上に2%を上積みして減額するのか。そうした場合に津山市もするのか。そうした場合にラスパイレス指数はどのくらいになるのか。

事務局 この2%の減額は市独自の減額です。ラスパイレスは平均だということをご理解いただきたいのと、岡山県が7%減額したとか、国が7.5%減額したというのは、国の場合は2年で元に戻るとい話しですし、県の場合も改革プランの中でした減額ですので、本来ですと元に戻ります。しかし津山市の場合は、恒久的に、したがって減額になったままです。その差があるということをご理解いただきたいと思います。

(2) ハザードマップについて

会長 それでは協議事項2番の「ハザードマップについて」事務局から説明をお願いします。

事務局 ハザードマップにつきましては、審議会から表示が細かくて見づらい、広く住民に公表すべきではないかというようなご意見をもらっておりました。これは平成19年に作成しまして、平成23年に一部改定したものを、防災会議、研修会、自主防災組織の説明会等で配布するとともに、ホームページで公開しています。内容については避難所の予定一覧、各市内を8地区に分けて土砂災害の危険地域と公共施設及び避難所を指定した各地域ごとの図面を載せております。これをイメージとしては図面の部分を少なくとも倍に拡大したものに、避難所情報でありますとか、裏面にはいろいろな防災対策の読み物とか注意事項等を掲示した1枚物を今年度作成し、全戸配布したいと考えているところです。

委員 気になったのが避難場所の中で、この施設が本当に適切なのかどうか。この避難はなんのための避難場所か、川の氾濫なのか土砂崩れなのか、わかりにくいので見直しが必要なのではないかと思う。

事務局 避難所につきましては、公益避難所という考え方の中で、避難所生活等が長くなった場合に生活物資等を提供しながら、避難生活を送っていただくというものです。地域等が広くて距離的に行けない、いろんな状況の中で移動ができない場合は、各地域におきまして、集会所、お寺、大きな工場等を、公益避難所以外の一時避難所として、指定をお願いしたいというような説明もしております。まずはお近くの一時避難所に避難をしていただき、そこで不幸にも家が被災されたりして、しばらくは家に帰れないような場合は、市が指定している公立施設に移動していただき、そこで避難所生活を送っていただくという考え方をしております。災害には震災、土砂災、水害、大規模火災等、いろいろな災害の種類があるので、出来るだけたくさんの公立施設を指定して、いろいろな災害に対応できるという考え方を持っておきたいと思えます。避難所につきましては昨年から施設管理者等に再チェックをかけております。公立施設ですので、普通は通常の幼稚園、小学校、公民館等で通常の活動をしておりますので、若干、老朽化の問題もありますが、我々としては安全であるという前提の中でもう一回確認をしているところです。

委員 市のほうから、地域防災組織を作りなさいという案内が町内会長に来ている。各地域で災害時の係を決めたり、避難場所を決めたりしないといけない。公共の場所が必ず安全とはいえない。

委員 以前から、地域防災防犯組織を作れということについては、耳が痛いほど市のほうからありました。加茂町は5町内会が自主防災組織を作っていると思う。私の地域では独自にハザードマップのようなものを作って、各戸に配っている。そのようなものをどんどん町内会単位で作っていければいいかなと思っております。

事務局 我々も防災施策の中で、自主防災組織の育成ということにかなり重点を置いております。津山市では、戸数という単位で数えると44%で、まだ50%未達成です。岡山県がやっと50%を超えたところで、全国は75%という数字を出しております。晴れの国という安心感からくることかなという気はしておりますが。ただ昨年を受けて、防災意識が向上しております。昨年から今年の初めにかけて自主防災組織の育成、設立の声が大変上がっておりまして、我々もその時に、説明会等のご要望がありましたら、災害の状況、自主防災組織の立ち上げるにはどうしたらいいかというような話をさせていただいております。ご要望があれば、声をかけていただければと思います。

委員 地震のことはあまりでなかったんですけど、津山地域も近辺に大きな断層があるが、黒木ダムの耐震化はどうなっているのか、今日でなくても結構ですので、教え

ていただけたらと思います。加茂地域でも結構揺れるところがあるということなので、地震の防災も啓発をしていただけたらと思います。

事務局 地震につきましては、国が地震に対して津波ということを想定した計画を立てており、岡山県でいうと沿岸7市に対しての対策のほうが重くなっております。三連動地震のシュミレーションをこの6月に国が出すので、岡山県としての情報を出すのは、来年になると聞いております。三連動のプレート地震以外の断層地震につきましてもシュミレーションをお願いしているが、すぐには出来ないようです。我々としてはどんどん申し入れをしていきまして、いろんな情報をご提供申し上げ、こういう状況になるということを常に皆さんが危機意識として頭の隅に置いてもらいたいと考えております。

(3) 福祉バス有料化について

会長 それでは協議事項3番の「福祉バス有料化について」事務局からお願いします。

事務局 平成22年3月に策定した「津山市地域公共交通総合連携計画」に基づく今回の「福祉巡回バス」の見直しについてですが、現在、旧阿波村・旧勝北町・旧久米町そして加茂地域で無料で運行しており、週1回程度の足を確保しているものです。こちらについて他地域ともども受益者負担として有料化を予定しているもので、ご理解をいただきたいと思います。加茂地域では、津山市社会福祉協議会の事業として、上加茂地区、新加茂地区、西加茂地区、東加茂地区の4コースを運行されております。加茂地域での福祉巡回バスは、車両も他地域と比較して大型車両で、また現在の路線設定で一定の利用がありますので、現在の形を継続していただきたいと考えております。今後も弱者の足として維持・継続していくことを第一に考えておりますので、ご理解をよろしくお願いします。

(4) 風力発電事業について

会長 それでは協議事項4番の「風力発電事業について」事務局から現状をお願いします。

事務局 風力発電事業について、当初の計画からは大幅に遅れているが、10月に予定されている風力発電事業の環境影響評価法義務化の法制化の前に、事業着工できるよう関係機関と調整中で、「再生可能エネルギーの固定買取制度」が期間的には20年、単価的には42円に決まれば事業の見通しが立てやすくなると考えている。関西電力への売電を計画していたが、中国電力へと計画を変更することとした。農業法人については、設立に向けて準備中とのこと。先日、ウインドファームが事業実施している所に行政的な視察、事業所の視察にも行き、地元自治体との意見交換を行ってきました。

副会長　この事業の実施については地域振興の観点から是非やって欲しいという気持ちはあるわけですが、資材運搬道の改良につきましては、地元から再三、津山市、県のほうにもお願いし、改良計画を作っていたが、事業の進捗状況等と見た場合、県道の改良計画のほうが少し遅れているのではないかと思いますので、津山市さんにおかれましては、県と早期に未改良地域の改良をしていただくようお願いをさせていただきたいと思います。

事務局　道路改良につきましては、主要事業の要望事項の中で、県民局と津山市との打ち合わせの中で、強くこの事業についてはやってくれということを伝えています。本年度の事業につきましても、計画区域ですとか、補償区域ですとか、改修箇所につきましても、詳細は承知しておりませんが、予算はついているということでございますので、よろしくお願ひしたいということでございます。

(5) 加茂地域の主要事業について

会長　次に「加茂地域の主要事業について」事務局からお願いします。

事務局　消火栓ボックスの更新補助につきましては、本年度1年限りの対応ですが、新たに補助制度を創設し、老朽化した設備の更新に対応することといたしました。対象設備は、ホース格納箱、ホース、管そう(筒先)で、補助率は、ホース格納箱は、購入経費の2/3以内、ホース、管そうは、1/2以内としており、受付期間を今月1日から7月31日までの3ヵ月としております。先月の23日に全町内会長さんへご案内をしております。

会長　次に「道路整備及び災害復旧事業について」事務局から説明をお願いします。

事務局　今年度予定している津山市事業、県事業の道路整備(市道・県道改良工事、橋梁補修、落石防止工事、法面防災工事等)及び災害復旧事業(津山市関係で公共土木災害関係で道路6件、河川3件。農地農業施設災害は農地6件、施設1件。林道災害1件。岡山県関係で公共土木災害関係で道路1件、河川18件。単県関係では道路1件、河川4件。)について説明。

委員　東西橋の下を県の関係で護岸をしているが、川の水が浚渫されて、土砂が積み上げられて整地されています。県の方にテトラを入れてあるんですが、テトラの下のまさ土がかなりえぐられて、テトラが壊れかけているんですが、これは直りませんかと聞いたら、テトラは壊れるもんですと言われた。ところが護岸の基底部より、かなり下までえぐられているところが多数あるんですが、河川の関係もあると思いますが、あそこに出た土砂をそのまま戻すか、大きな石を戻すかして、テトラより護岸を高くするというのは不可能なんですか。旧し尿処理場の周りなんかもかなりテトラより下

までえぐられて護岸の基底部よりもっと深いところになってると思う。

会長 これは返事できないと思うので、こういった意見が地元から出たということを県民局のほうに連絡をとってください。

(6) その他

会長 その他のほうにうつらせていただきます。その他としてなにかありますか。

副会長 津山全体を対象としたデジタル系地域防災行政無線という計画があるわけですが、これの現在の状況をまずお聞かせいただきたいと思います。

事務局 総合計画の後期計画の中で、防災情報の伝達手段の研究という大きなテーマがあがっております。旧市内には防災無線がないので、それに変わる伝達手段ということで取り組むようになっております。防災行政無線のデジタル化、更新と合わせて、FM波による伝達手段が旧津山地域を中心に可能であるかどうかということ进行调查したり、FMを使った情報伝達を先進的に取り組んでいます倉敷市に視察に行き、その可能性を探っているところです。

事務局 津山市高齢者保健福祉運営協議会及び介護保険運営協議会委員就任に当審議会からの推薦で、岡田一江委員さんが就任されておりますが、今月末で任期が満了するため、新たに推薦依頼がありました。報告期限の関係で、本日の審議会での推薦では、間に合わないため、大塚会長、菅田副会長と協議し、引き続き岡田委員さんへお願いしております。任期は平成24年6月1日から平成26年5月31日までの2年間です。2点目といたしまして、テレビ津山の加入状況の最終報告をさせていただきます。平成21年12月1日から始まりまして、加茂支所での加入申込が、この3月30日をもって終了いたしました。最終加入者は、テレビのみ526件、インターネットのみ18件、テレビ・ネット両方が157件、計701件で、国勢調査世帯数1,609に対しまして、43.6%となっております。最後に加茂地域審議会視察研修についてですが、今年度は、加茂と阿波が研修予定となっております。時期、行き先等ご意見を伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。前回は平成23年3月1～2日に高知県の葉山風力発電所へ伺っております。

6 市長との意見交換

会長 市長との意見交換ということで意見を言うて頂けたらと思います。要望でも結構です。

委員 昨日の新聞にも大きく取り上げられていたんですが、学級崩壊というのが紙面を賑わせていると思うんです。岡山県も2年ほど前でしたか、全国ワースト1位だいう

ことで、すごいなと思って新聞を読んだんですが、津山地区でもそういうことがあるんでしょうか。

市長 学級崩壊につきましては、津山市におきましても例外ではなくあります。ありますが、今は多少落ち着いていると、教育委員会のほうからお受けしております。原因等についてはいろいろとあると思います。原因の究明というか、これをしたら絶対学級崩壊が収まるという薬はないんですが、教育委員会といたしましては、こうした現状を踏まえまして、努力をさせていただきます。それから、一つの方法として、学校でいろいろと経験をなされた先生方が学校をサポートするというような動き等も出ておりますので、非常にありがたいことだと考えております。子育て支援、或いは産業振興、特に企業立地等の問題についても、非常に重要な課題というふうに意識しておりますので、それらの問題については重点的に頑張っていこうと思っております。

市長 今日の審議会の中で、非常に短時間でありまして、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。冒頭、津山市の財政計画について、財政担当のほうから説明をさせていただきました。非常に暗い話題ですが、負の遺産を解決するのはあなたに課せられた課題だと、そのせいでいろんな施策について消極的になっただらいいかんぞと、こういうような貴重な意見がございまして、私どもは心いたしまして、力一杯頑張っていこうというような決意でございます。

7 閉会

副会長 本会を終了させていただきます。ご苦労様でした。ありがとうございました。